



長崎県 株式会社 エコグリーンヒガシ

『観葉植物を香港・シンガポール・マカオへ』

【主な品目】

観葉植物（ゴムの木など）

【主な輸出先国・地域】

香港・シンガポール・マカオ

【輸出取組の概要】

- ◆ 平成30年からゴムの木を主力商品として、香港・シンガポールなどに観葉植物を輸出
- ◆ ゴムの木をらせん状に曲げて、小ぶりに仕立てることで付加価値を高め、主にマンション・小型住宅用として販売

【輸出実績】（平成30年度より輸出開始）

	輸出量(鉢)	出荷時期
令和5年度	700	通年

【取り組む際に生じた課題】

- 1 輸出に関する知識が少なく、輸出関連事業者等との接点もなかった。
- 2 輸出先国の検疫に合格する用土を作る必要があった。
- 3 輸出先国において、自社商品の認知度向上を図る必要があった。

【生じた課題への対応】

- 1 国内外の展示会や商談会に参加し、輸出関連事業者と直接商談を行った。
- 2 用土事業者等から検疫に関する情報収集を行い、ピートモスなどを配合した輸出専用の用土を自社開発した。
- 3 機会を捉え、輸出先国の販売店を訪問し、ゴムの木の特徴などのPRや販売促進活動を行った。

【対応の結果】

- 1 輸出を行っている国内花き市場担当者と商談が成立し、輸出につなげることができた。
- 2 輸出先国が要求している輸出検査に合格し、輸出可能となった。
- 3 自社商品の特徴が販売店舗責任者の目を引いたことや輸出先国の生活環境等にマッチしたことから、注文数の増加につながった。

【今後の課題・展望】

- 1 既輸出先国の販売店等における、販促活動を継続し、輸出量の増加を目指す。また、新たな輸出先国を開拓し、輸出の安定化を図る。
- 2 将来的な輸出品目の拡大に向けて、大村市の市花である大村桜を盆栽風に仕立てることを関係機関と検討している。また、野菜の試験栽培にも取り組んでいる。
- 3 輸出先国開拓の課題は、ターゲット国の消費者ニーズの把握や検疫等に関する情報収集である。

【活用した支援・施策】 -

【ウェブサイト】 <https://ecogreenhigashi.com/>

【連絡先】 担当者名：代表取締役 東 勇一郎、T E L：090-8410-4254



輸出しているゴムの木



香港での展示会の様子